

子どもたちに 核兵器も基地もない 平和な日本と世界を

憲法・平和・核兵器廃絶
メールニュース第10号
2011年7月21日(木)
全教・国民共同局

原水爆禁止世界大会(8/7~8/9)まで、 あと二週間! 代表登録をすすめよう!

歴史的な原水爆禁止2011年世界大会まであと2週間とせまりました。大会への期待は大きく高まっています。これまでにエジプト、キューバ、ノルウェー、ベネズエラなど核兵器廃絶をリードする政府の代表、アメリカとヨーロッパの反核平和団体のリーダー、ハンフォードとチェリヤビンスク、マーシャルなど核実験被害地の代表など、22カ国から83名の海外代表の参加が決まっています。広島・長崎の両市長も参加します。

各県から届けられた参加者報告用紙には、多くの青年の名前が書かれています。「青年を代表として送りたい」という意気込みがピンピン伝わってきます。ただ、残念ながら、すべての県組織から届いていないのが実情です。世界大会成功を保障する代表派遣のとりくみの成功へ、最終盤の奮闘が求められています。とりくみ強化を緊急にお願いします。

8/8(月)「教職員平和のつどい in 長崎」に ノルウェーのハルボーセンさんが参加します!

世界大会2日目の夜、「教職員平和のつどい in 長崎」(17:30~19:30セントヒル長崎)に参加する海外代表が決まりました。ノルウェーのアン・マーガレット・ハルボーセンさんです。

アン・マーガレット・ハルボーセンさんは、40年間にわたり、平和・人権教育にかかわってこられました。平和教育グローバルキャンペーンに参加し、ノルウェー平和評議会の理事をつとめています。平和教育の教科書も執筆。世界大会参加を通して初等教育のための教材を作りたいと考え、広島と長崎の歴史を知る教師との交流を望んでおられます。

また、このつどいで特別報告をしてくださるのが、**福島県立双葉高校の松本佳充さん**。松本さんは、「先の見えぬ避難生活、ぶれる放射線対策問題、サテライト校通学生徒の生活、進まぬ賠償問題など、原発事故にかかわる現況を知ってほしいと考えています。原水爆禁止運動とともに、いかに原発が危険であるかをアピールし、脱原発運動を強く推進していきたい」と語っています。

広島へ、長崎へ、毎日毎日歩いていきます・・・国民平和大行進



「国民平和大行進」は着実に進んでいます。5/8礼文島を出発した北のコースは、被災地を元気に歩き(例年の1.5倍の規模で)、進んでいます。左の写真は、7/8、碓氷峠にて、群馬県から長野県へのリレーの場面です。